



# 教育支援部だより

第 2 号  
令和 2 年 12 月 21 日 発行  
あぶくま支援学校 教育支援部

教育支援部では学校・家庭・地域を「つなぐ」お手伝いをします

## 教育支援部の活動について

～教職員向け勉強会を開催しました～

教育支援部では、教職員に向けて毎年勉強会を開催しています。勉強会を通して特別支援学校のセンター的機能や本校の取り組みを学び、特別支援教育の専門性を深めています。今回は、「地域支援センターがない」教育支援アドバイザーの上妻弘先生より、「地域支援の実際～未来の担い手に向けて～」と題して講話を頂きました。



当日は多くの先生方が参加し、特別支援学校のセンター的機能としての実際とその役割についての理解を深め、取り組みや現状についての情報を共有することができました。

## 放課後等デイサービス(放デイ)と日中一時支援について

～放課後等デイサービスと日中一時支援の違いと利用の方法をご紹介します～

### 放課後等デイサービスは

学校授業終了後または休業日に、生活能力の向上のためにプログラムに基づく療育などを提供します。個別支援計画も作成され、学校教育法に規定する学校に就学している障がい児が対象です。



### 日中一時支援は

家族の一時的な休息を図るために、「日中」「一時的」に障がいのある方の活動の場を確保するサービスです。特に計画を作成して支援療育をするというよりは、楽しく遊び、落ち着いて過ごし、ストレスを発散して、おうちに帰るまでの間子どもを見守り預かってくれるサービスで、年齢制限はありません。

### 【サービス利用の流れ】

市町村役場で申請手続きをする。

放デイは相談支援事業所でサービス等利用計画を作ってもらう

市町村役場で、受給者証を交付してもらう。

事業所に問い合わせ、見学などして、契約をする。

※利用するには居住地の市町村役場に行って申請をします。ただし、市町村によっては申請の仕方が多少異なる場合があります。

※郡山市の場合、相談支援専門員の数足りず、計画を立てるのに時間がかかるので、できるだけ早くサービスを利用できるようにするために、本来相談支援専門員が立てる計画を保護者自身で立てることがあります。これを「セルフプラン」といいます。

# サポートブックについて

名称は多少違いますが、多くの市町村でサポートブックなるものが作られています。



サポートブック  
って何？

サポートブックは、お子さんが生まれてから現在までの情報を書きとめた、お子さんのことがよく分かる「情報ブック」です。  
生まれたときから、在学中も卒業後もずっと、お子さんのライフステージを網羅するものです。

どんなことを  
書くの？

氏名や住所などのプロフィール、生育歴、受診の記録、手帳の更新日、支援の記録などです。記入や保管は保護者となります。

メリットや  
活用方法は？

成長の記録として一冊にまとめておくことができます。また、学部や担当が変わるときや、新たに支援を受けるときなどにお子さんのことについてサポートブックを見ながら伝えることで、いつも同じ情報が伝わり、伝え忘れも少なくなります。更に、学校や福祉機関、医療機関などとの連携が必要になったときに、関係機関で情報を共有することができます。

\*\*\* 郡山市子育てサポートブックのデータはここからダウンロードできます \*\*\*  
郡山市公式ウェブサイト→健康・福祉・障がい福祉→郡山市子育てサポートブック

## スクールカウンセラーのお知らせ



お子さんのこと、  
家での過ごし方のこと、将来のことなど・・・

お気軽にスクールカウンセラーに  
ご相談ください。



スクールカウンセラー

富森 崇先生

日 時

1月19日(火) 13:30~16:00

3月 5日(金) 13:30~16:00

申し込み

担任の先生までお知らせください。

- 相談は予約制です。
- 相談時間は約1時間程度です。
- 相談内容の秘密は厳守されます。